



2015 DIJON Racing SUPER GT RACE REPORT

MOTEGI GT 250KM RACE

開催日時 : 2015年11月14日～11月15日

開催地 : ツインリンクもてぎ（栃木県）

ドライバー : 井上恵一／柴田優作

マシン名 : DIJON Racing GT-R (日産 GT-R GT3)

参戦クラス : 2015年 SUPER GT SERIES / GT300 クラス

天候 : 予選／雨

決勝／曇り～晴れ

路面 : 予選／ウェット

決勝／ウェット～ドライ

入場者数 : 予選／17,000人

決勝／33,000人

公式練習 : クラス 27 位 (2分00秒509)

予選 Q1 : クラス 25 位 (2分02秒247)

予選 Q2 : ---

フリー走行 : クラス 27 位 (2分03秒563)

決勝 : クラス 20 位 (47周)

DIJON
Racing

Cure★
Album Planet
MTSUNAGA
GROUP

inoki

Dental office

IBRIDIA CELL

NILZZ
Racing Factory

P
POWER STATION

ENDLESS
®

CKK

KTEL

PINS
FACTORY®

TAKATA

NISSAN NISMO
NISSAN GT-R NISMO GT3
Customer Racing

RAYS



2015年SUPER GTシリーズの最終戦となる『MOTEGI GT 250KM RACE』が栃木県にあるツインリンクもてぎを舞台に行われ、第4戦富士大会以来の参戦となるDIJON Racing GT-R47号車が、従来はチーム監督を務める井上恵一と第5戦鈴鹿大会(DIJON Racing GT-R48号車)以来の参戦となる柴田優作のコンビでスポット参戦を果たした。ツインリンクもてぎはストップアンドゴーの多いコース特性から、抜きどころが非常に少なく、250kmというシリーズ最短のレース距離も相まって、毎年レーススタート直後から激しい戦いが繰り広げられている。DIJON Racingのホームコースとなるツインリンクもてぎで、DIJON Racing47号車は今期最後のレースに挑んだ。

■11月14日(土) 予選Q1

朝から雨が降り続き、雨量は午前中よりも増えてコースは完全にウェットコンディションとなる。

予選Q1セッションは14時00分より20分間にわたって行われた。

今回、予選Q1を担当するのは柴田優作。

全車がセッション開始と同時に一斉にコースイン。

気温および路温が低いために、コースイン直後から各車は入念にウォームアップ走行を行う。

タイヤウォーマーが禁止されているため、タイヤが適正な温度になるまで、ある程度周回をこなす必要があり、各車必死にタイヤを暖めるために周回を続ける。

予選アタックを開始した田中選手は計測5周目に2分02秒247をマーク。

しかしこれ以降タイムアップを果たすことが出来ず、予選25位となり、Q2進出を果たすことができなかった。

DIJON
Racing

Cure★
Album Planet
MTSUNAGA
GROUP

inoiki

Dental office

IBRIDA CELL

NILZZ
Racing Factory

P
POWER STATION

ENDLESS
®

KTEL

PINS
FACTORY®

NISSAN NISMO
NISSAN GT-R NISMO GT3
Customer Racing

CKK

TAKATA

YOKOHAMA

RAYS



■11月15日(日) 予選Q1

一夜明けて迎えた日曜日。

昨日から降り続いた雨も午前中には上がり、路面も所々乾いた箇所が現れ始めた。

天候は回復方向でグリッドへの試走時には全車スリックタイヤを装着してコースイン。

しかし、天候は気難しく、グリッドウォーク終了間近に突然の小雨が降り始め、路面は再びウェットコンディションへ。

降雨は収まりつつ、ほとんど止んでいるが、路面はウェット状態という非常に難しい状況となり、全車グリッド上でウェットタイヤへ交換してスタート進行が行われた。

13時48分、33,000人の大観衆が見守る中、スーパーGTシリーズ最後の決勝レースがスタートした。

25番手スタートの井上はオープニングラップの混乱を上手くかわし、23位にジャンプアップ。

レインタイヤの磨耗を少しでも抑えるべく、井上はペースをやや下げる走行となるも、徐々に順位を上げていった。

21周を終え、井上がピットインを行う。

ドライタイヤに交換し、柴田に残りのスティントを託すこととなった。

DIJON
Racing

Cure★
Album Planet
MTSUNAGA
GROUP

inoki

Dental office

IBRIDIA CELL

NILZZ
Racing Factory

P
POWER STATION

ENDLESS

CKK

KTEL

PINS
FACTORY®

TAKATA

YOKOHAMA

NISSAN NISMO
NISSAN GT-R NISMO GT3
Customer Racing

RAVS



ピットアウト直後、アクシデントによる落下物回収のためにセーフティーカー(SC)が導入される。

しかしこのSCはDIJON Racing GT-R47号車には有利に働くかず、逆に上位進出は非常に厳しい状況となってしまった。コース上の回収が終了し、SCが解除となってレースは再開。

DIJON Racing GT-R47号車の直後にDIJON Racing GT-R48号車がつけ、チームメイト同士でのバトルを展開する。レースも終盤を迎え、ますます激化するコース上ではあったが、柴田は冷静に対処し、DIJON Racing GT-R47号車をチェックカーまで導いた。

DIJON Racing GT-Rは47周を周回。GT300クラス20位で最終戦のチェックカーを受けた。

今回のMOTEGI GT 250KM RACEをもって、DIJON Racingの2015年SUPER GTシリーズは終了致しました。大量ポイント獲得こそ果たすことが出来ませんでしたが、各レースにおいて、随所でドライバーやチームのポテンシャルをお見せできたかと思います。

皆様の暖かいご声援、ご支援に深く御礼を申し上げます。そして来シーズンも引き続き、宜しくお願ひ致します。

DIJON
Racing

Cure★
Album Planet
MTSUNAGA
GROUP

inoki

Dental office

IBRIDA CELL

NILZZ
Racing Factory

P
POWER STATION

ENDLESS
®

KTEL

PINS
FACTORY®

NISSAN NISMO
Customer Racing

CKK

TAKATA

YOKOHAMA

RAVS